

## 【JABA 東北地区野球連盟記録員講習会】

### 【勝投手の決定方法】

(a) ある投手の任務中に自チームがリードを奪い、しかもそのリードが最後まで保たれた場合はその投手に勝投手の記録が与えられる。

- ただし、① 先発投手であれば、5 回以上を投げていた場合。(注※)  
② 救援投手であれば、1 回以上を投げていた場合。  
③ 救援投手の投球回が 1 回未満であれば、1 失点以内（前任投手の残した走者も含め）に抑えていた場合。

※ ①の「先発投手であれば 5 回以上が必要」というのは、9 回制の試合を前提としたもので、アマチュアでは 1 試合のイニングをあらかじめ 7 回制あるいは 5 回制として開催している団体もある。

全ての試合で「5 回以上」にこだわる必要はなく、例えば 7 回制であれば「先発投手が 4 回以上を投げていた場合」、また 5 回制であれば「先発投手が 3 回以上投げていた場合」、と置き換えて勝投手を決定してもよい。

(注) 天候もしくは点差によりコールドゲームが宣せられた場合、勝チームの守備が 5 回（6 回未満）の試合であれば、先発投手が 4 回投げていれば勝投手の記録を与える。  
（6 回未満とは 5 回 2/3 までの試合）

(注) 投手が代打者または代走者と代わって退いた回に得点があった場合、その得点は退いた投手の任務中に得たものとする。

#### ①ケース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
西武	0	0	1	1	1	0	0	2	0	5
オリックス	1	4	0	1	0	0	0	0	×	6

※オリックス先発 A 投手は 5 イニングを投げ、リードを保った状態で降板⇒勝利投手は？

#### ③ケース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日本ハム	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3
オリックス	1	0	0	0	1	5	0	0	×	7

※オリックス先発 A 投手は 6 回表二死走者一、三塁で降板。

救援の B 投手は安打され、三塁走者生還（1 得点され 2 対 3 と日本ハムが逆転）

その後、後続を打ち取った。(B 投手の投球回数は 1/3 で前任走者の残した走者 1 失点に抑えた) その裏に自チームが 5 点を加えて逆転。

7 回表から C 投手に交代し、そのままオリックスが勝利⇒勝利投手は？

(b) 上記 (a) 以外 (リードしたチームの先発投手が 5 回未満で降板など) で救援投手に勝ちの権利がある場合、救援投手が複数いれば、勝利をもたらすのに最も効果的な投球を行ったと記録員が判断した救援投手に勝投手の記録を与える。

「効果的な投球」の判断として、次の①→②の優先順位で考える。

① 投球回数 = 投球回数が最も多い救援投手が、他の救援投手よりも 1 回以上多い場合は、その投手。

② 投球内容 = 投球回数と同じかその差が 1 回未満のときは失点など考慮し決定する。

① ケース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
オリックス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ソフトバンク	1	1	0	3	0	0	0	0	×	5

※ソフトバンク先発 A 投手はリードを保ったまま 4 イニング (5 回未満) で降板。

その後、救援の B 投手は 2 イニング、C 投手は 1 イニング、D 投手は 1 イニング、E 投手は 1 イニングを投げ、リードを許すこと無くソフトバンク勝利⇒勝利投手は？

② ケース

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
楽天	0	0	0	1	2	0	0	0	2	5
オリックス	1	1	0	3	2	0	2	0	×	9

※オリックス先発投手 A は 5 回表二死満塁(5 対 3 でリード)している場面で降板。

(投球回数 4 回 2/3→この時点で勝利投手の権利なし)

交代した B 投手はピンチ(走者 3 人を背負う)場面で登板→外野フライに打ち取りチェンジ。

その後 5 回裏自チームが 2 点を追加し、7 対 3 でリード。

6 回表は B 投手から C 投手に交代し、C 投手は三者凡退に打ち取る。

(B 投手の投球回数 1/3)

自チームがリードしたまま 7 回表 C 投手から D 投手に交代。

(C 投手の投球回数 1 回)

D 投手は無失点に抑え、その裏自チームが 2 点を追加。(9 対 3 でリードを広げる)

8 回表から E 投手に交代し、無失点に抑え、9 回表は F 投手が登板。

F 投手は 2 点を許すも 9 対 5 でオリックスが勝利。

この試合の勝利投手は？

A 投手(先発)→4 回 2/3(失点 3)

B 投手→1/3 回(失点なし)走者満塁の場面でピンチを凌ぐ→勝利を決定付けるアウトを奪う投球内容。

C 投手→1 回(得点差 4 点の場面で登板→失点なし)三者凡退。

D 投手→1 回(無失点)

E 投手→1 回(得点差 6 点の場面で登板→失点なし)

F 投手→1 回(2 失点)

※全ての救援投手は投球回数が同じかその差が 1 回未満である。

⇒〇〇投手に勝利投手を記録

救援投手の投球回数差が 1 回未満。



### 【負投手の決定方法】

(a) 自己の責任による失点が相手チームにリードを許し、相手チームが最後までそのリードを保ったとき、投球回数の多少にかかわらずその投手に負投手の記録を与える。

※1 対 1 の同点。一打サヨナラの場面で A 投手が走者二塁に残して降板、救援の B 投手がヒットを打たれ 1 対 2 でサヨナラ負けのケース⇒敗戦投手は？

※1 対 0 で自チームリード。A 投手が走者一人を残して降板、救援の B 投手が本塁打を打たれて 1 対 2 で逆転サヨナラ負けのケース⇒敗戦投手は？

以上

作成：元田雅之